

■輸血療法委員会

1. 目的

輸血療法に係わる適正な使用および管理体制の確立ならびに事故防止を図り、輸血業務全般の安全と効率性を確保する。

2. 方針

- 1) 院内で使用する血液製剤の使用状況の確認と適正使用の推進
- 2) 輸血オーダーおよび払い出しシステムの改善

3. 委員構成

委員長：竹内正美

委員：江黒日出男、末光徳匡、吉村茂修、日下伸明、寺尾英梨奈、谷口峻彦、荻野仁史、尾方信二、山田和栄(看護部)、影山裕梨(看護部)、川名功美(薬剤部)、松本繁子(臨床検査室)、南條和麿(臨床検査室)

4. 活動内容

毎月最終木曜日に委員会を招集し、月別の輸血用血液製剤使用状況報告および診療科別使用状況を報告する。

5. 2020 年度実績

1) 血液製剤使用量

赤血球製剤：11,461 単位

新鮮凍結血漿：5,174 単位

血小板製剤：32,235 単位

アルブミン製剤：27,680 グラム

2) 院内廃棄血の削減

院内廃棄率の年度目標 0.4%未満を達成し、0.2%だった。(2019 年度 0.5%)

3) 管理料 I 継続申請

申請基準を満たし継続申請出来た。

6. 来年度目標

- 1) 輸血用血液製剤の院内廃棄率 0.4%未満を目標に適正依頼、適正使用、在庫管理の 3 項目について管理指導を継続して行う。
- 2) 輸血管理料 I ・輸血適正使用加算を継続申請・取得する。
- 3) 安全な輸血療法実施のための輸血管理規定等の見直し。
- 4) クリオプレシピテート製剤の運用、管理体制の構築。
- 5) 緊急輸血体制の見直し。

文責：竹内 正美